

脳とこころ

御栗鷹に逝った科学者

川人光男(68) IIATR脳情報通信総合研究所長IIが書店で1冊の本を見つけたのは、東京大理学部物理学科に学んだ時だった。



塚原研究室(1981年)の様子。川人(後列右から2人目)や塚原(7人目)、小田(後列左端、名古屋大名誉教授)らが写る

「数理解論物理学」。塚原先生は、脳科学の理論的な方向性を示していた。1976年4月、大阪大大学院の門をたたいた。先生はもうお医者さんで、神経生理学者だけれど、理論的な研究に相当な思い入れがあった。(大阪大の)生物工学科で、神経細胞の、実験と理論の立場の人が交流している面が交流している面

数学使い鮮やかに解く

「うちで助手になりなさい。81年7月、鈴木の下で博士号を取り、渡米を考えていた川人を、塚原が引き留めた。初めて得た研究者としての職。85年4月まで指導を受けた。4カ月後、塚原は下野村の山中に逝った。遺体の身元は、川人が藤岡市へ着いてすぐ、特定された。

前橋女2年ぶり最高賞

県高校新聞コンクール

第36回県高校新聞コンクールの審査会が29日、前橋市古市町の上毛新聞社で開かれた。県内13校の新聞部などが作った新聞が審査され、最高賞の知事賞には、子宮頸がんなどの原因となるヒトパピローマウイルス(HPV)の感染を防ぐワクチン接種に焦点を当てた前橋女子が2年ぶりに選ばれた。



各校の新聞について意見を出し合う審査委員

HPVワクチン問題 多角的に捉え記事に

HPVワクチンは接種後に全身の痛みなどを訴える人が相次ぎ、国が積極的な勧奨を中止していたが、「有効性が副反応のリスクを上回る」と判断して4月から再開している。前橋女子は接種に関する校内の意識調査や有識者の見解、副反応に苦しむ当事者の声を報じた。問題を多角的に捉え、バランスの良い記事にまとめた点が高い評価を受けた。

第2席の県議会議長賞は高崎が受賞した。校内の活動や男女共学化の実情など幅広い話題を紹介し、10面に及ぶ充実した紙面に仕上げた。第3席の県教育賞賞には農大1が選ばれた。資料を丹念に読み解き、科学技術立国の推進を巡る厚田政権の政策をまとめた。

審査委員の小淵紀久男同社編集局長は「学校行事を取り上げたのもや、関心を深く掘り下げて記事にした新聞があり、バラエティーに富んでいた」と全体を講評した。表彰式は10月26日に同社上毛ホールで開かれる。

他の受賞校は次の通り。▽上毛新聞社長賞 高崎女子▽県高校長協会賞 共愛▽県私立小・中・高校協会賞 太田女子、高経大▽県高校文化連盟会長賞 大付▽県高校文化連盟会長賞

「スタイリッシュ。かつよかったですよ」。在りし日を回顧する。講義でシナプスの可塑性を説明する姿を、鮮明に記憶する。「樹状突起の電位を伝える数学的なモデルが力学系の観点でも踏まえ、現象を説明する理論を編み出した。小脳性反響回路モデル」と呼ばれる。

「胸に抱く。これからもっともっと大きなスケールの研究を目指してください。あなたならできる」。川人は2008年から、国が進めるブレイン・マシン・インターフェース(BMI)研究代表を務めている。今年でちょうど15年目。先駆者は「今より世の中に役立つ仕事を担っています」と語る。

国内十数校の先端施設と連携し、同じプロジェクト(規模)を使い、これまでに数千人規模の脳活動のデータを集めた。いずれも精神疾患の患者の神経回路の動きを示す。「脳の動きから、患者さんの疾患やタイプを判別する」それを土台とした「より適切な治療」の提供を視野に入れた。

東毛工業用水道の漏水で20カ所点検 県企業局 太田 伊勢崎両市で8月に起きた東毛工業用水道の水道管漏水事故を受け、県企業局は29日、太田市の事故現場と同じ止水蓋を使った20カ所所を近く点検し、必要に応じて対策を講じることを明らかにした。

2024年度から行う予定。29日の県議会一般質問で、秋山健太郎氏(自民)の質問に答えた。

体育大会参加 2人が熱中症 高崎倉賀野中 29日午前11時55分ごろ、高崎市倉賀野町の高崎倉賀野中で、体育大会に参加していた2年生2人が熱中症の疑いで搬送され、女子生徒が中等症、男子生徒が軽症と診断された。

稲刈りに指切断 前橋の男性 東吾妻で 29日午後0時30分ごろ、東吾妻町新巻の田んぼで稲刈りをしていた前橋市三河町、富沢隆夫さん(65)がコンバイン後部のカッターに右手を巻き込まれたと、一緒に作業をしていた弟(62)が119番通報した。富沢さんは薬指を切断する重傷。

年金減額訴訟が結審 東京高裁 2012年の国民年金法改正による年金支給の減額は生存権などを保障した憲法に反するとして、県内の受給者約50人が国に減額の支払いを求めた訴訟の控訴審の第4回口頭弁論が29日、東京高裁(矢尾渉裁判長)で開かれ、原告側が意見陳述を行った。原告側が意見陳述を行った。原告側が意見陳述を行った。原告側が意見陳述を行った。

断水続く静岡へ 飲料水1ト支援

高崎のNPOなど 台風15号の被害で断水が続く静岡市清水区を支援しようと、高崎市のNPO法人グレート群馬ネットワーク(愛称命名権)のメンバーが、10月1日から民間企業や個人を対象に募集を始める。



積み込み作業を行う関係者

同法人が運営するローカルヒーロー「超速戦士G-PIVIE」のハルナルも作業に参加。同組員らと協力しながら、リレー方式で飲料水の入った段ボール箱を積み込んだ。同法人が清水区の知人から現地の状況を聞き、支援を呼びかけたところ、イベントを通じて関わりが深い同組員が協力を申し出た。桐生市末広町商店街振興組、中村昌也理事長も賛同し、水車まで提供した。現地で給水車まで水を受け取りに行けない高齢者らに優先的に配布する予定。

市後期高齢者保険証の負担割合 53人分に表示ミス 桐生市は29日、75歳以上を対象に7月と9月に発送した後期高齢者医療制度の被保険者証について、医療費の自己負担割合を判定するための収入などの金額に入力ミスがあり、53人分の差し替えたと発表した。負担割合を本来3割と表示すべきところ、1割または2割と小さく表示していた。市医療保険課によると、県後期高齢者医療広域連合からの指摘で発覚した。市は対象者に電話や訪問で謝罪し、正しく表示された被保険者証を交付した。

稲刈りに指切断 前橋の男性 東吾妻で 29日午後0時30分ごろ、東吾妻町新巻の田んぼで稲刈りをしていた前橋市三河町、富沢隆夫さん(65)がコンバイン後部のカッターに右手を巻き込まれたと、一緒に作業をしていた弟(62)が119番通報した。富沢さんは薬指を切断する重傷。

年金減額訴訟が結審 東京高裁 2012年の国民年金法改正による年金支給の減額は生存権などを保障した憲法に反するとして、県内の受給者約50人が国に減額の支払いを求めた訴訟の控訴審の第4回口頭弁論が29日、東京高裁(矢尾渉裁判長)で開かれ、原告側が意見陳述を行った。原告側が意見陳述を行った。原告側が意見陳述を行った。原告側が意見陳述を行った。

断水続く静岡へ 飲料水1ト支援 高崎のNPOなど 台風15号の被害で断水が続く静岡市清水区を支援しようと、高崎市のNPO法人グレート群馬ネットワーク(愛称命名権)のメンバーが、10月1日から民間企業や個人を対象に募集を始める。

断水続く静岡へ 飲料水1ト支援 高崎のNPOなど 台風15号の被害で断水が続く静岡市清水区を支援しようと、高崎市のNPO法人グレート群馬ネットワーク(愛称命名権)のメンバーが、10月1日から民間企業や個人を対象に募集を始める。

10月1日(土)より販売開始

数量限定商品

トロピカル感あふれるパッションフルーツと 香り高いカカオのマリアージュ

PATISSERIE CREATIONS GATEAU FESTA HARADA

「グーテ・デ・ロワ パッションカカオ」商品のこだわり

パッションフルーツを練り込んだチョコレート グーテ・デ・ロワ パッションカカオに使用しているチョコレートには、パッションフルーツが練り込まれており、その味わいは、まさに果実そのものです。

カカオとパッションフルーツのマリアージュ。カカオの魅力をプラスした「グーテ・デ・ロワ カカオ」にパッションフルーツチョコレートをコーティングしております。パッションフルーツの酸味とカカオの香りが、互いの魅力を引き立てます。

品番 RCPO
グーテ・デ・ロワ パッションカカオ 簡易箱
税込1,296円(本体価格1,200円)
●商品入数 5枚

※数に限りがございますので、品切れの際はご容赦ください。

ガトーフェスタ ハラダ 通販販売ご利用のご案内

フリーダイヤル (午前10時～午後7時 元日のみ休業) 0120-520-082

オンラインショップ 0120-520-082 shop.gateaufesta-harada.com